

星の広場



〒488-0883 尾張旭市城山町長池下4517番地1
TEL 0561-52-1850 FAX 0561-52-1851



2021年 12月

12月の観望天体

おうし座の散開星団 ヒアデス星団とプレアデス星団

冬の星座の代表、オリオン座の右側におうし座があります。赤い1等星アルデバランとV字形の星の並びがおうし座の目印です。アルデバランが牡牛の赤い右目、V字形はヒアデス星団という散開星団で牡牛の顔にあたります。おうし座の肩のところには「すばる」の名前で親しまれている散開星団、プレアデス星団(M45)があります。目では6個ぐらい星が集まって見えます。双眼鏡や望遠鏡で観察すると、数十個の星が視野いっぱいになり輝いています。



明るい星の並びが自動車のメーカー「スバル」のエンブレムマークになっているのがわかります。

星(恒星)がたくさん集まっている天体を星団と呼んでいます。散開星団と球状星団があります。

散開星団は数十~数百個の星が散らばったように集まっているもので、天の川に沿って見られます。

球状星団は数十万~数百万個の星が丸く集まっているもので、銀河系の外側周辺にあります。



ヒアデス星団
アルデバラン
地球からの距離は約130光年。もっとも近い星団です。



プレアデス星団(すばる)
地球からの距離は約400光年。生まれてから数千年の若い星の集まりです。

12月の夜間観望会

日曜日 18:00~19:00

※夜間観望会は「スカイワードあさひ星の会」が運営します。

※小中学生は保護者と一緒に来てください。

※天候や機器の整備等で中止する場合があります。

スカイワードあさひに16時以降にお問い合わせください。

開催日	主な観望天体
5日	ヒアデス星団、M45プレアデス星団(すばる)、天王星 など ヒアデス星団は肉眼で星がV字形に見えます。
12日	月齢8の月、天王星、おうし座θ(シータ)星 おうし座θ星はヒアデス星団内の二重星です。
19日	満月、M45プレアデス星団(すばる)、天王星 など 「星はすばる、彦星、夕筒、...」。清少納言が最も美しい星と詠っています。
26日	天王星、M31アンドロメダ銀河、M34 M34はペルセウス座にある散開星団です。

12月の太陽観望会



黒点やプロミネンスなどの太陽活動をHαフィルター太陽観測専用望遠鏡で観察しましょう。

火・土・日曜日、祝日
29日~1月3日まで休み

10:00~12:00
13:00~15:00



12月の星空

2021年12月19日 午後7時

12月の惑星

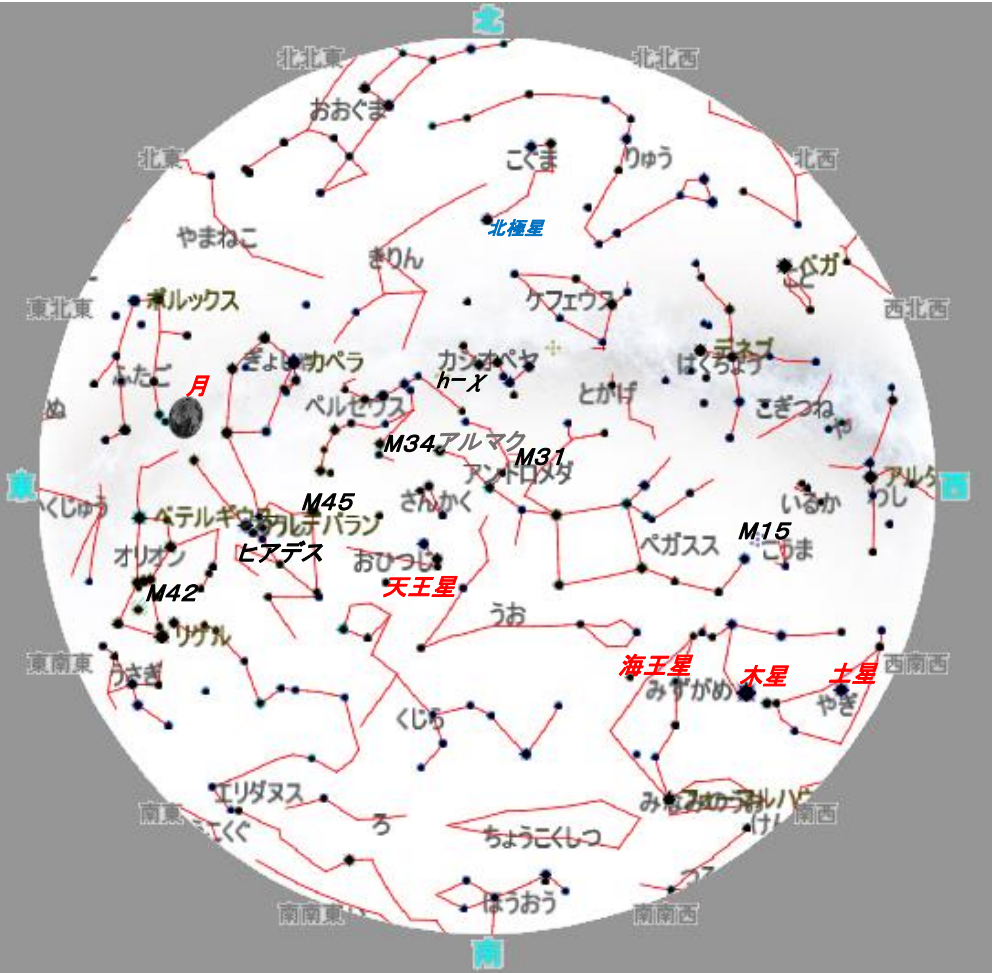
- 水星 夕方の西の空
- 金星 夕方の西の空
- 火星 明け方の東の空
- 木星 宵の西の空
- 土星 夕方の西の空
- 天王星 宵の南の空
- 海王星 宵の西の空

水星は、11月29日に外合となり、12月半ば過ぎには夕方西の空に見られるようになります。

金星は、「宵の明星」として明るく輝き、12月4日に最大光度 -4.7 等になります。その後はしだいに高度を下げていき、観望しにくくなります。

夏から秋にかけて夜空で目立っていた木星と土星は、夕方の西空に低くなり、まもなく見ごろを終えます。

天王星、海王星が見ごろを迎えています。望遠鏡で青緑色の丸い姿を観察しましょう。



日	曜	月齢	12月の主な天文現象
1	水	26.6	 
2	木	27.6	
3	金	28.6	
4	土	0.2	新月 金星が最大光度 $(-4.7$ 等)
5	日	1.2	
6	月	2.2	
7	火	3.2	(大雪)
8	水	4.2	
9	木	5.2	
10	金	6.2	
11	土	7.2	上弦の月
12	日	8.2	
13	月	9.2	
14	火	10.2	ふたご座流星群が極大 海王星が東矩
15	水	11.2	

14日
ふたご座流星群
三大流星群の一つで、多くの流れ星が出現する流星群として知られています。14日午後4時ごろに極大になります。真夜中に月は沈み、良い条件で観測できます。

日	曜	月齢	12月の主な天文現象
16	木	12.2	 
17	金	13.2	
18	土	14.2	
19	日	15.2	満月
20	月	16.2	
21	火	17.2	
22	水	18.2	(冬至)
23	木	19.2	こぐま座流星群が極大
24	金	20.2	
25	土	21.2	
26	日	22.2	
27	月	23.2	下弦の月
28	火	24.2	
29	水	25.2	
30	木	26.2	
31	金	27.2	

23日
こぐま座流星群
23日午前0時ごろに極大になる予想です。ゆっくりとした明るい流星ですが、出現数は期待できません。